

茅ヶ崎市美術館 開館20周年記念 第2弾

版の美—板にのせられたメッセージII

「原安三郎コレクション 小原古邨展—花と鳥のエデン」

開館20周年を迎えた茅ヶ崎市美術館では「版の美」と称し、年間の展覧会を通じて版画の魅力をお伝えしています。

シリーズ2回目となる本展は、実業家・^{はら やすきぶろう}原安三郎旧蔵の^{お ほん こ ぞん}小原古邨作品の展覧会です。

小原古邨は海外で高い人気を誇るものの、国内ではあまり知られていませんでした。本展では中外産業株式会社のご協力のもと、^{すり}摺および保存状態が極めて良い原コレクションの古邨作品およそ260点の中から230点を初公開し、古邨芸術の真骨頂をお伝えします。また、同じく原コレクションの歌川広重や歌川国芳などの貴重な花鳥画も10点展示するとともに、古邨のご遺族が所蔵する^{しょう ぼん}祥邨、^{ほう ぞん}豊邨（古邨の変名）の作品も参考出品します（作品はすべて前期・後期展示替え）。

原安三郎は、現在の茅ヶ崎市美術館が位置する^{たかすな}高砂緑地をかつて別荘地として所有していました。彼の南欧風の「^{しょうらいそう}松籟荘」は茅ヶ崎の別荘文化を代表する^{しょうしや}瀟灑な建物として知られていましたが、老朽化を理由に1984（昭和59）年解体されました。本展においては松籟荘の建築模型を展示するなど、原安三郎を紹介するコーナーを設けます。

| 展覧会概要 |

会 期 2018年9月9日（日）～11月4日（日）

※前期・後期で全点入れ替え（前期のチケット提示で後期の観覧券200円引き）

[前期2018年9月9日（日）～10月8日（月・祝） / 後期2018年10月11日（木）～11月4日（日）]

時 間 10時～18時（入館は17時30分まで）

休館日 月曜日（ただし9月10日、17日、24日、10月8日は開館）、9月18日（火）、25日（火）、10月9日（火）、10日（水）

会 場 茅ヶ崎市美術館 展示室1・2・3

〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1-4-45

観覧料 一般700(600)円、大学生500(400)円 ※()内は20名以上の団体料金

※高校生以下、市内在住65歳以上の方、障害者およびその介護者は無料

主 催 公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

協 賛 日本化薬株式会社

企画協力 中外産業株式会社

【本展に関するお問い合わせ先】

茅ヶ崎市美術館 担当学芸員：月本寿彦 広報担当：城之内さき

TEL:0467-88-1177 FAX:0467-88-1201 E-mail:bijutsukan@chigasaki-arts.jp

本展のみどころ・ポイント

- 1 原安三郎コレクションの古邨作品を世界初公開！
- 2 小原古邨の展覧会としては国内最大級！
- 3 小原古邨のトップクラスの作品のみを展示！
- 4 原安三郎の茅ヶ崎別荘・松籟荘のコーナーを設営！

◆小原古邨とは



小原古邨こと小原^{またお}又雄は1877(明治10)年、金沢に生まれました。花鳥画を得意とする日本画家・鈴木華邨に師事。古邨の名前で絵画共進会に日本画を出品し、たびたび褒状を得ました。明治末期には版元・大黒屋から花鳥画を刊行、海外への輸出を念頭に置いた版下絵の制作で高い人気を獲得しました。昭和期に入ると渡邊版画店から祥邨の名で、また酒井^{こうどう}好古堂と川口商会の合版では豊邨の名前で制作を続け、特に海外で好評を博しました。1945(昭和20)年没。

◆古邨作品の魅力と特徴

版元・大黒屋による高度かつ精緻な彫摺技術に裏打ちされた、雪月花の情感を含んだ美しい花鳥画の世界です。伝統的な東洋絵画が持つ様式美に加え、西洋絵画的な躍動感や遠近表現が見られます。また、正面摺やきめ出し、あてなしぼかし等、江戸時代を通じて培われた版画技術が惜しみなく投入され、唯一無二の花鳥版画のシリーズが生み出されています。

◆原安三郎と原コレクションについて

原安三郎は1884(明治17)年、徳島に生まれました。日本化薬株式会社の社長、会長職を長く務め、多くの企業の要職を歴任するほか、会社更生にも尽力し、実業界および財界の重鎮として知られていました。一方、葛飾北斎や歌川広重などの熱心な浮世絵コレクターとしての側面も持ち、2016(平成28)年から翌年にかけて全国巡回した展覧会「原安三郎コレクション 広重ビビッド」では貴重な初摺^{しよずり}特有の美しさに対し多くの浮世絵ファンが賞賛しました。

【本展に関するお問い合わせ先】

茅ヶ崎市美術館 担当学芸員：月本寿彦 広報担当：城之内さき

TEL: 0467-88-1177 FAX: 0467-88-1201 E-mail: bijutsukan@chigasaki-arts.jp

関連イベント

※申込制のイベントは、9月9日(日)10時より美術館受付またはお電話にてお申し込みください(開館時間内)。

※取材希望の方は事前にお電話でお問い合わせください。

【1】トーク「小原古邨と原安三郎」

今回初公開を果たした原コレクションの古邨作品。今も海外で高い人気を得ている画家小原古邨と優れた美術品蒐集家としての原安三郎について調査に当たった二人のキュレーターが迫ります。

日時：9月16日(日) 14時～15時30分

講師：小池満紀子(中外産業株式会社美術担当/国際浮世絵学会理事)

月本寿彦(展覧会担当学芸員)

会場：美術館 エントランスホール

料金：無料

席数：約50席(事前申込不要)

【2】トーク「松籟荘を語る」

原安三郎の別荘「松籟荘」にまつわるエピソードを茅ヶ崎市美術館設計者夫妻と美術館館長が語り合います。

日時：9月23日(日・祝) 14時～15時30分

講師：山口洋一郎(株式会社洋建築企画)

山口佳子(株式会社洋建築企画)

小川稔(茅ヶ崎市美術館館長)

会場：美術館 エントランスホール

料金：無料

席数：約50席(事前申込不要)

【3】0歳からの家族鑑賞会

「ようこそ古邨 あつまれ!みるっこ家族鑑賞会」

レクチャーを受けながら小さなお子さまも一緒に家族で作品に親しむことができる毎回大好評の鑑賞会です。

日時：① 9月29日(土) 14時～15時

② 10月2日(火) 10時30分～11時30分

講師：富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)

会場：美術館 展示室、2階 アトリエ

対象：①おもに園児・小学生とその保護者

②0歳から3歳児とその保護者

料金：無料(保護者は観覧券が必要です)

定員：各回30名(申込制/先着順)

【4】カフェトーク「古邨のそこんどこ気になります」

美術館カフェ「ル シュマン」で、小原古邨の魅力を学芸員とともに語り合しましょう。

日時：10月13日(土) 15時～16時

講師：月本寿彦(展覧会担当学芸員)

会場：美術館カフェ「ル シュマン」

料金：500円(ワンドリンクとお菓子付き)

定員：20名(申込制/先着順)

対象：どなたでも(展覧会を観覧したあとが望ましい)

【5】ミニコンサート「なつかしい日本のうた」

茅ヶ崎ゆかりの音楽家が、小原古邨が活躍した時代をはじめとする懐かしい日本の歌曲を紹介します。

日時：10月14日(日) 14時～15時

出演：竹村 淳(バリトン)・青島陽子(ピアノ)

会場：美術館 エントランスホール

料金：無料

席数：約50席(事前申込不要)

【6】観月句会&茶会「花鳥風月 古邨の世界に遊ぶ」

美術館で作品を鑑賞した後、しばし風流韻事のひとときを過ごしましょう。句作を楽しんだあとは、お茶を一服いただきながら日本庭園から眺める十三夜に思いを馳せてみませんか。

日時：10月21日(日) 17時～20時

講師：金子宗貞(裏千家助教授)

会場：美術館2階 アトリエ、松籟庵(高砂緑地内)

料金：300円(お抹茶・お菓子代/要観覧券)

定員：20名(申込制/先着順)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

【7】学芸員による「ギャラリートーク」

展覧会担当学芸員が会場を巡り、展示作品を解説します。

日時：9月10日(月)、10月8日(月・祝)、11月3日(土・祝)

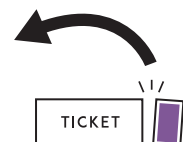
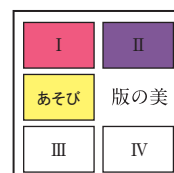
各日14時～15時

会場：美術館展示室 料金：無料(要観覧券/事前申込不要)



版の美Ⅰ、夏の展覧会に引き続き第3弾 半券コレクションカード用チケット配布!

「版の美」シリーズⅠ～Ⅳと「夏の展覧会」のチケットに掲載している作品画像を切り取って集める「半券コレクションカード」を実施。全て集めると美術館スペシャルグッズをプレゼント!



【本展に関するお問い合わせ先】

茅ヶ崎市美術館 担当学芸員：月本寿彦 広報担当：城之内さき

TEL: 0467-88-1177 FAX: 0467-88-1201

E-mail: bijutsukan@chigasaki-arts.jp

広報用画像

画像の使用をご希望の場合は広報までお問い合わせください。 広報担当: 城之内

TEL : 0467-88-1177 FAX : 0467-88-1201

E-mail : bijutsukan@chigasaki-arts.jp

【画像使用にあたってのお願い】

※使用目的は、本展のご紹介のみに限ります。 ※掲載する場合は、作者名と各画像のキャプションを必ず記載してください(下記参照)。

※トリミング、部分使用、文字乗せ、色調変更はご相談ください。

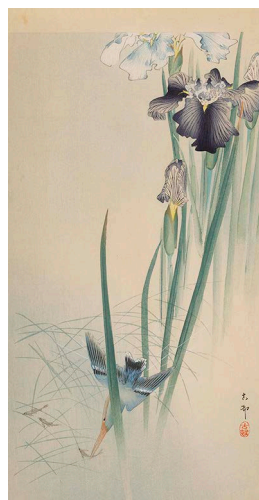
①



②



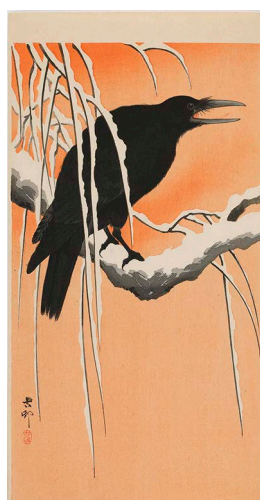
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



- ① 原安三郎コレクション 小原古邨 《蓮に雀》 明治後期 紙、木版(多色)
- ② 原安三郎コレクション 小原古邨 《芥子に金糸雀》 明治後期 紙、木版(多色)
- ③ 原安三郎コレクション 小原古邨 《花菖蒲に翡翠》 明治後期 紙、木版(多色)
- ④ 原安三郎コレクション 小原古邨 《紫陽花に雀》 明治後期 紙、木版(多色)
- ⑤ 原安三郎コレクション 小原古邨 《雪の柳に烏》 明治後期 紙、木版(多色)
- ⑥ 原安三郎コレクション 小原古邨 《菜の花に揚羽蝶》 明治後期 紙、木版(多色)
- ⑦ 原安三郎コレクション 小原古邨 《堇に猫と蝶》 明治後期 紙、木版(多色)
- ⑧ 原安三郎コレクション 小原古邨 《踊る狐》 明治後期 紙、木版(多色)